

幼児のテレビ視聴と録画番組・DVDの利用状況

～2016年6月「幼児視聴率調査」から～

世論調査部 星 暁子

2016年6月に実施した「幼児視聴率調査」の結果から、幼児のテレビ視聴と録画番組・DVDの利用状況を報告する。調査は、東京30キロ圏に住む2～6歳の幼児1,000人を調査相手として、6月6日(月)～12日(日)の1週間実施した。

幼児が1日にテレビを見る時間は1時間40分(週平均)。テレビ視聴時間は、2007年以降2時間程度で推移していたが、2012年に初めて2時間を切って減少し、2013年以降緩やかに減少傾向にある。また、幼児が録画番組やDVDを再生利用している時間は54分(週平均)で、2011年から2013年にかけて増加し、それ以降は同程度で推移しており、両者の差は縮まっている状況が続いている。

調査期間中によく見られたテレビ番組は、「ドラえもん」、「クレヨンしんちゃん」など民放のアニメ番組や、「おかあさんといっしょ」、「みいつけた！」などEテレの幼児向け番組であった。

さらに付帯質問の結果をみると、幼児の「DVD・ブルーレイディスクプレーヤー」や「パソコン」の利用率の減少が続いている。これまで着実な伸びがみられた「携帯電話・スマートフォン」や「タブレット端末」といったモバイル端末の利用率の伸びが、今回は止まった。録画DVD再生の週間接触者率は横ばいで推移する中、インターネット動画を見る幼児は増加している。

はじめに

対象が全国7歳以上の2016(平成28)年6月「全国個人視聴率調査」¹⁾と同時期に実施した、「幼児視聴率調査」の結果を報告する。

調査は6月6日(月)～6月12日(日)の1週間、東京駅から30キロ圏内に住む2～6歳の未就学児を対象に実施した。住民基本台帳か

ら層化無作為2段抽出した幼児1,000人(10人×100地点)に郵送法(15分単位日記式、保護者による代理記入)で行い、有効数は545人(有効率54.5%)であった。有効サンプルの構成は表1のとおりである。

なお、回答している保護者の94%は母親であるため、以下の本文では保護者のことを母親と表記する。

表1 サンプル構成

全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳	保育園児	幼稚園児	未就園児	その他不明
545人	278	267	118	147	122	158	191	263	85	6
100.0%	51.0	49.0	21.7	27.0	22.4	29.0	35.0	48.3	15.6	1.1

1. テレビ全体の視聴状況

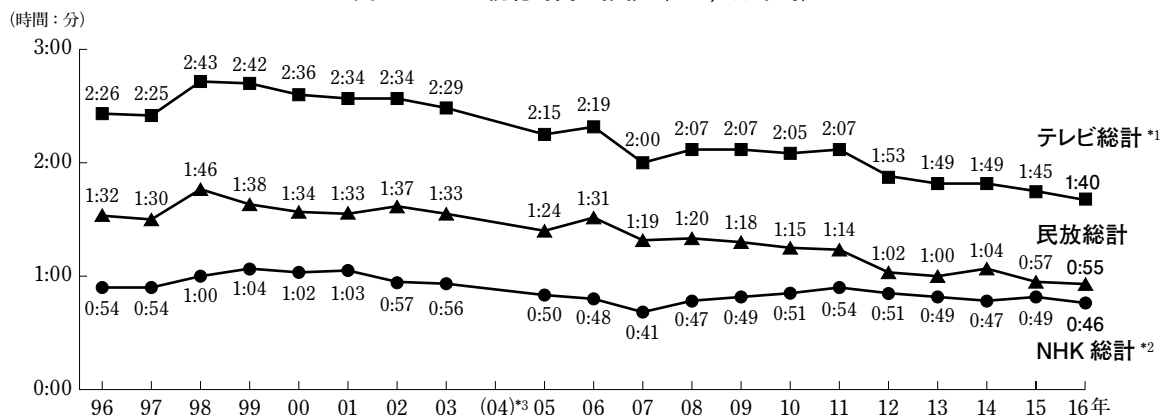
(1) テレビ視聴時間 緩やかに減少傾向

今回、2～6歳の幼児のテレビ視聴時間²⁾は、週平均1日あたり1時間40分で前年(1時間45分)と変わらなかった(図1)。これまでの長期的な推移をみると、幼児のテレビ視聴時間は1998年(2時間43分)から漸減している。2007年以降は2時間程度の水準で推移していたが、2012年に初めて2時間を切って減少し、2013年以降緩やかに減少傾向にある。

NHK・民放別には、NHK総計46分(前年49分)に対し、民放総計は55分(前年57分)であり、いずれも前年と同程度であるが、民放総計は前年に続き1時間を切った。NHK総計の内訳をみると、総合3分、Eテレ(教育)40分、衛星計1分で、NHK視聴の9割はEテレに充てられている。

年齢別にテレビ総計の視聴時間をみると(表2)、前年は年齢が上がるにつれ視聴時間が長くなる結果であったが、今回はその傾向がみられず、3歳が1時間31分と最も短い。

図1 テレビ視聴時間の推移(1日、週平均)



*1 テレビ総計は、民放総計(民放地上波と民放衛星波)とNHK総計(NHK地上波とNHK衛星波)の計
 *2 NHK総計のうち衛星波は2007年まではBS1・BS2の計、2008～2010年はBS1・BS2・BSハイビジョンの3波計、2011年以降はBS1・BSプレミアムの2波計
 *3 2004年は「幼児視聴率調査」を実施していない

表2 NHK・民放別平均視聴時間(1日、週平均)

(時間:分)

		全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
テレビ総計	14年	1:49	1:46	1:53	2:02	1:48	1:45	1:51
	15年	1:45	1:40	1:51	1:39	1:43	1:46	1:51
	16年	1:40	1:35	1:46	1:43	1:31	1:47	1:43
NHK総計	14年	0:47	0:43	0:49	0:57	0:52	0:46	0:35
	15年	0:49	0:46	0:52	0:55	0:50	0:49	0:42
	16年	0:46	0:43	0:48	0:54	0:42	0:44	0:42
民放総計	14年	1:04	1:03	1:05	1:05	0:56	0:58	1:15
	15年	0:57	0:55	0:59	0:44	0:52	0:57	1:08
	16年	0:55	0:51	0:58	0:49	0:48	1:03	1:00

NHK・民放別にみると、NHK 総計の視聴時間は、前年は年齢が上がるにつれ短くなっていったが、今回は2歳が54分と最も長い一方、3～6歳では差がみられず40分程度である。民放総計は2・3歳が50分弱、4～6歳では1時間程度となっている。

次に、曜日別のテレビ総計の視聴時間をみると(表3)、全体で平日平均は1時間40分、土曜は1時間35分、日曜は1時間48分で、日曜は前々年と比べて視聴時間が減少しているが、前年と同程度である。平日と土曜は変化がない。年齢別にみると、2歳は平日に比べ土日が短く、4～6歳は日曜が長めである。これは、2歳児が4～6歳の幼児に比べ、平日のEテレの帯番組をよく見ており、4～6歳児は民放の人気アニメ番組などをよく見ていることによる。

曜日別のNHK・民放別視聴時間は図2の

とおりである。平日はNHK 総計と民放総計が同程度だが、土曜・日曜はNHK 総計の視聴時間が平日より短くなり、日曜はNHK 総計17分に対して、民放総計が1時間31分と、民放総計がNHK 総計を大きく上回る。

(2) 幼児と母親の視聴時間の関連

幼児のテレビ視聴に影響が大きい母親の視聴時間との関係を見ていく。本調査では、付帯質問で母親の平日1日あたりのテレビ視聴時間を選択肢で尋ねている。これまでの幼児視聴率調査などから、幼児の視聴時間は、母親の視聴時間やテレビの見せ方が影響しているという知見が得られている³⁾。今回の結果でも、母親の視聴時間が3時間以上と「長時間」テレビを見ている層では、幼児の視聴時間が2時間44分と長めで、母親の視聴時間が2時間未満と比較的「短時間」テレビを見て

表3 曜日別平均視聴時間(テレビ総計)

(時間:分)

	全体			男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
	14年	15年	16年						
平日	1:48	1:47	1:40	1:33	1:46	1:49	1:31	1:44	1:38
土曜	1:39	1:32	1:35	1:27	1:44	1:19	1:24	1:44	1:48
日曜	2:07	1:52	1:48	1:46	1:49	1:28	1:37	2:07	2:00

図2 曜日別NHK・民放別の平均視聴時間

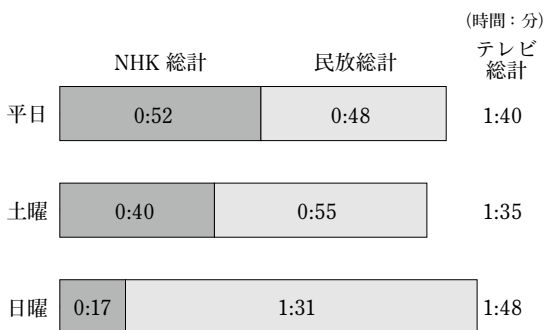


表4 母親の視聴時間別にみた幼児の視聴時間(テレビ総計, 1日, 週平均)

(時間:分)

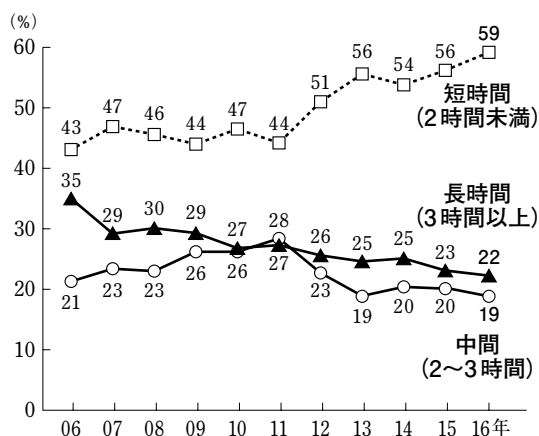
	全体	短時間 (2時間未満)	中間 (2～3時間)	長時間 (3時間以上)
14年	1:49	1:13	2:12	2:53
15年	1:45	1:18	2:02	2:40
16年	1:40	1:13	1:53	2:44

16年のサンプル数 319人 105人 117人

いる層では、幼児の視聴時間が1時間13分と短かった(表4)。

母親の視聴時間の長期推移をみると(図3)、幼児の視聴時間の減少がみられた2007年と2012年の前後で、母親の「長時間」層の減少、および「短時間」層の増加が起きていることがわかる。「短時間」層の割合は2012年に半数を超え、以降も増加傾向となっている。母親の視聴時間の減少が、幼児の視聴時間の長期的な減少の要因の1つとなっていると考えられる。

図3 母親の視聴時間の推移



(3) 最もよく見るチャンネルはEテレ

次に、調査を実施した1週間に、少しでも(15分以上)テレビを見た幼児の割合である週間接触者率をみてる(表5)。テレビ総計の週間接触者率は92.1%で前年(92.2%)と同程度である。

局別にみると、Eテレが72.8%と最も高く、次いでテレビ朝日、フジテレビ、NTV、テレビ東京の順である。Eテレはどの年齢でも最も接触者率が高く、最も低い5・6歳でも7割近くが接触している。民放では、NTVとテレビ東京は5・6歳で全体と比べて高い。またテレビ朝日とフジテレビは4歳で高い。

表6に2006年からの各局の週間接触者率の推移を示した。Eテレは2006年から80%前後で推移していたが、2012年以降は70%台前半となっている。民放各局も2015年に減少した局が多かったが、今年(2016年)は2015年に続きほとんどの局で低めの値となった。テレビ朝日、フジテレビ、NTV、テレビ東京は2014年より減少している。

NHK・民放各局別の時間帯別平均視聴率(表7)をみると、Eテレは1日の平均で3.6%

表5 局別週間接触者率(年齢別)

	全体	2歳	3歳	4歳	5・6歳
テレビ総計	92.1	89	92	94	93
NHK 総計	78.5	76	84	78	76
総合	22.9	15	19	26	30
Eテレ	72.8	73	78	71	69
NTV	45.0	41	40	46	53
朝日	53.8	42	50	63	59
TBS	21.8	19	20	26	22
東京	38.7	31	35	43	46
フジ	49.7	48	41	59	52

■は全体より統計的に高い*

*全体に対する各年齢層の特徴をみるために、該当する層と、全体から該当する層を除いた残りの層で「互いに独立な%の差の検定」を行った結果。以下の検定式を用いている(以下同様)

$$z = \frac{|p1 - p2|}{\sqrt{p1(1-p1)(\frac{1}{n2} - \frac{1}{n1})}}$$

- ・ サンプル数: (全体) n1, (一部) n2
- ・ 割合(%): (全体) p1, (一部) p2
- ・ Z = 「1.960」以上なら「有意水準(危険率)5%で」有意差あり

と最もよく見られ、午前(6.0%)と午後(2.9%)の時間帯によく見られている。民放の中では、夜間のフジテレビ(2.0%)とNTV(1.9%)が高めである。

表6 局別週間接触者率の推移

	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16年
総合	29	24	30	24	25	24	30	31	28	19	23
Eテレ	78	80	80	81	77	81	73	74	71	73	73
NTV	65	57	54	54	55	54	58	49	56	49	45
朝日	75	69	66	71	62	69	57	57	62	55	54
TBS	58	44	47	39	37	34	28	24	23	20	22
東京	68	61	63	66	59	55	47	42	47	44	39
フジ	74	74	77	76	67	69	64	61	64	51	50

(整数値で比較)

表7 局別時間帯別平均視聴率 (週平均)

時間帯*	総合			Eテレ			NTV			朝日			TBS			東京			フジ		
	14	15	16	14	15	16	14	15	16	14	15	16	14	15	16	14	15	16	14	15	16年
午前	0.7	0.4	0.4	5.7	6.1	6.0	1.4	1.4	1.0	1.2	1.0	0.9	0.3	0.2	0.3	0.6	0.4	0.4	1.1	1.1	1.2
午後	0.2	0.2	0.1	3.4	3.3	2.9	0.9	0.5	0.7	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.4	0.2	0.3
夜間	0.5	0.5	0.4	1.4	1.9	1.8	2.4	2.3	1.9	1.4	1.1	1.1	0.5	0.4	0.4	1.2	1.1	0.9	2.5	2.0	2.0
1日	0.5	0.4	0.3	3.6	3.9	3.6	1.6	1.4	1.2	0.9	0.7	0.7	0.3	0.2	0.3	0.6	0.5	0.4	1.3	1.1	1.2

* 午前：前5:00～後0:00 午後：後0:00～後6:00 夜間：後6:00～前0:00 1日：前5:00～前0:00

(4) 平日のテレビ視聴状況は変化なし

幼児の平日1日のテレビ視聴状況を30分ごとに時間を追って、平均視聴率をグラフにしたものが図4である。平日、幼児がテレビをよく見ている時間は、午前6時30分～9時と、午後4時～9時である。特に朝や夕方には、幼児・子ども向けの番組やアニメ番組などが多く放送されており、この視聴傾向はこれまでと変わらない。いずれの時間帯も、前年、前々年と比べて、統計的に有意な変化はなかった。

(5) 人気のアニメ番組の視聴率が減少

NHK・民放全体で幼児によく見られた番組は、テレビ朝日「ドラえもん」(28.0%)、Eテレ「おかあさんといっしょ」(26.7%)、テレビ朝日「クレヨンしんちゃん」(24.3%)などである(表8)。

前年に続き視聴率が30%を超える番組が1本もなく⁴⁾、2008年からトップであったフジテレビ「サザエさん」(24.0%)が4位となっている。また、「サザエさん」の前の時間帯で放送されている「ちびまる子ちゃん」(20.6%)も上位10番組に入っていない⁵⁾。

「サザエさん」、「ちびまる子ちゃん」はいずれも2009年に40%を超えていたが、2015年に30%を切り、今回は20%台前半となっている。一方、「ドラえもん」、「クレヨンしんちゃん」も20%台だが、2012年以降堅調に推移している。2014年から放送されているテレビ東京「妖怪ウォッチ」は、2014年・2015年は20%台半ばだったが、今年は12.9%と減少した。

(6) 2・3歳によく見られているEテレ

年齢別によく見られた番組を比べたのが表9である。2・3歳では、「おかあさんといっしょ」

図4 テレビ総計の30分ごとの平均視聴率（平日）

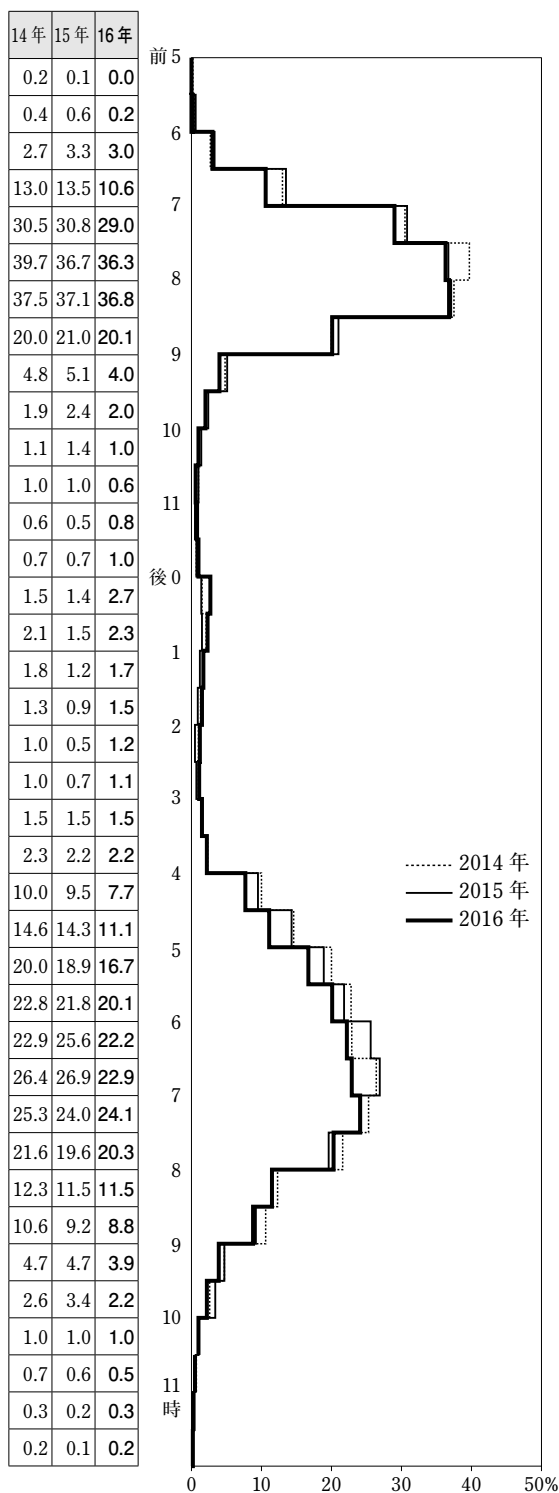


表8 NHK・民放でよく見られている番組（放送時間10分以上）

曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率 (%)
金	後7:00	朝日	ドラえもん	28.0
水	前8:00	Eテレ	#おかあさんといっしょ	26.7
金	後7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	24.3
日	後6:30	フジ	サザエさん	24.0
金	前7:45	Eテレ	#みいつけた!	23.9
土	前8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	22.6
月	前7:35	Eテレ	#コレナンデ商会	22.4
土	前8:00	Eテレ	おかあさんといっしょ土曜日	22.2
土	前8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	21.9
日	前8:00	朝日	仮面ライダーゴースト	21.5

#は帯番組で最も視聴率が高い曜日の数値（以下同様）

をはじめ、Eテレの平日・土曜の朝の番組がよく見られている。4歳以上になると民放のアニメ番組や「仮面ライダーゴースト」(テレビ朝日)のようなヒーロー・戦隊シリーズがよく見られ、上位10番組のうち半数以上を民放の番組が占める。

2. NHK テレビの視聴状況

(1) よく見られている朝7～8時台の番組

Eテレでよく見られた番組は表10のとおりである。「おかあさんといっしょ」(26.7%)、「みいつけた!」(23.9%)、「ムジカ・ピッコリーノ」(22.6%)など平日・土曜の午前7～8時台の番組が例年同様に上位となっている。

総合テレビでは、午前8時放送の連続テレビ小説「とと姉ちゃん」(月～土平均・3.6%)がよく見られた。

また、BSプレミアムで最もよく見られた番組は、「ワンワンパッコロ! キャラともワールド・みんなDEどーもくん!」(日曜 午前8:55)で、視聴率は1.8%であった。

表9 NHK・民放でよく見られている番組（年齢別）（放送時間10分以上）

(%)

2歳					3歳				
曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率	曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
水	前 8:00	Eテレ	# おかあさんといっしょ	36	水	前 8:00	Eテレ	# おかあさんといっしょ	29
月	前 8:25	Eテレ	# いないいないばあっ!	29	金	後 7:00	朝日	ドラえもん	24
水	前 7:45	Eテレ	# みいつけた!	29	土	前 8:00	Eテレ	おかあさんといっしょ土曜日	24
土	前 8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	27	土	前 8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	23
土	前 8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	27	月	前 7:45	Eテレ	# みいつけた!	23
土	前 8:00	Eテレ	おかあさんといっしょ土曜日	26	水	前 8:25	Eテレ	# いないいないばあっ!	22
水	前 7:35	Eテレ	# コレナンデ商会	25	月	前 7:35	Eテレ	# コレナンデ商会	21
水	前 7:15	Eテレ	# アニメ はなかっぱ	25	金	後 7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	20
水	前 8:40	Eテレ	# えいごであそぼ	25	日	後 6:30	フジ	サザエさん	20
日	後 6:30	フジ	サザエさん	24	土	前 8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	19

(%)

4歳					5・6歳				
曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率	曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
金	後 7:00	朝日	ドラえもん	32	金	後 7:00	朝日	ドラえもん	33
日	後 6:30	フジ	サザエさん	30	金	後 7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	28
日	前 8:00	朝日	仮面ライダーゴースト	29	日	前 8:00	朝日	仮面ライダーゴースト	27
月	前 7:45	Eテレ	# みいつけた!	29	金	前 7:45	Eテレ	# みいつけた!	24
月	前 8:00	Eテレ	# おかあさんといっしょ	28	金	前 7:35	Eテレ	# コレナンデ商会	23
金	後 7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	27	日	後 6:30	フジ	サザエさん	23
月	前 7:35	Eテレ	# コレナンデ商会	27	土	前 8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	23
日	前 7:30	朝日	動物戦隊ジュウオウジャー	26	土	前 8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	22
日	後 6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	25	日	前 7:30	朝日	動物戦隊ジュウオウジャー	21
日	前 8:30	朝日	魔法つかいプリキュア!	23	日	前 8:30	朝日	魔法つかいプリキュア!	21

□ Eテレの番組

表10 Eテレでよく見られている番組
（放送時間10分以上）

(%)

曜日	放送時刻	番組名	視聴率
水	前 8:00	# おかあさんといっしょ	26.7
金	前 7:45	# みいつけた!	23.9
土	前 8:25	ムジカ・ピッコリーノ	22.6
月	前 7:35	# コレナンデ商会	22.4
土	前 8:00	おかあさんといっしょ土曜日	22.2
土	前 8:35	アニメ おさるのジョージ	21.9
木	前 8:25	# いないいないばあっ!	20.2
水	前 7:15	# アニメ はなかっぱ	19.8
月	後 5:45	# ゴー!ゴー!キッチン戦隊クックルン	18.0
土	前 7:45	ピタゴラスイッチ	17.2

(2) Eテレ 幼児・子どもゾーンの 番組の視聴状況

Eテレの平日朝の主な番組の視聴率は表11のとおりである。午前6時35分の「みんなのうた」からEテレの視聴率が伸び始め、「シャキーン!」（前7:00）で10%を超える。それ以降、番組の視聴率が徐々に上がり、「ピタゴラスイッチ ミニ」（前7:30）から「おかあさんといっしょ」（前8:00）まで20%を超える。朝の時間帯で最もよく見られているのは「おかあさんといっしょ」（前8:00）で25.6%である。年齢別にみると、「おかあさんといっしょ」（前8:00）以降の番組が、2歳で全体より高い。午前8時を過ぎると幼稚園・保育園に通って

表 11 平日 朝の主な Eテレの番組 男女年齢別視聴率

〈 〉は前年の同時時間帯の視聴率 (以下同様) (%)

番組名	全体	前年	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
前 6:35 みんなのうた	2.1	3.5	2	2	2	2	2	2
前 6:40 ミニアニメ・うさぎのモフィ ほか	2.1	〈3.5〉*1	2	2	2	2	2	2
前 6:45 にほんごであそぼ	5.6	7.5	6	6	6	5	7	4
前 6:55 Eテレ 0655	5.6	7.5	6	6	6	5	7	4
前 7:00 シャキーン!	14.4	14.3	14	16	15	15	16	13
前 7:15 アニメ はなかつば	18.9	16.7	18	20	21	16	21	18
前 7:25 デザインあ 5分版	18.9	16.7	18	20	21	16	21	18
前 7:30 ピタゴラスイッチ ミニ	21.7	18.4	21	23	23	20	24	20
前 7:35 コレナンデ商会	21.7	〈18.4〉*2	21	23	23	20	24	20
前 7:45 みいつけた!	22.4	22.2	23	22	24	23	24	19
前 8:00 おかあさんといっしょ	25.6	26.7	25	26	33	26	26	19
前 8:25 いないいないばあっ!	19.7	21.4	19	21	28	20	19	14
前 8:40 えいごであそぼ	14.9	15.9	14	16	23	15	13	10
前 8:50 プチプチアニメ	12.3	12.4	11	13	21	12	11	8
前 8:55 てれび絵本	12.3	12.4	11	13	21	12	11	8

*1 前年は「ミニアニメ・サラとダクン」ほか

*2 前年は「フックブックロー」

■は全体より統計的に高い、□は低い (以下同様)

表 12 土曜・日曜 朝の主な Eテレの番組 男女年齢別視聴率

(%)

曜日	番組名	全体	前年	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
土	前 6:35 いじめをノックアウト	1.5	0.7	0	3	2	1	2	2
	前 6:45 フックブックローミニ	2.9	1.1	1	5	3	3	3	3
	前 6:50 ミミクリーズ	2.9	1.1	1	5	3	3	3	3
	前 7:00 デザインあ	9.0	7.4	7	11	9	8	10	10
	前 7:15 なりきり!むーにゃん生きもの学園	10.6	9.3	9	13	10	9	13	11
	前 7:30 ノージーのひらめき工房	15.8	12.7	12	20	17	15	21	12
	前 7:45 ピタゴラスイッチ	17.2	13.8	14	20	19	16	22	13
	前 8:00 おかあさんといっしょ土曜日	22.2	22.6	19	25	26	24	19	20
	前 8:25 ムジカ・ピッコリーノ	22.6	25.2	19	26	27	23	19	22
	前 8:35 アニメ おさるのジョージ	21.9	26.3	19	25	27	19	20	23
	前 9:00 アニメ ひつじのショーン	14.4	20.0	12	17	19	11	16	13
	前 9:20 アニメ はなかつば	12.5	18.4	11	14	15	10	15	11
日	前 7:00 みんなのうた	3.7	〈5.2〉*1	3	4	3	5	4	3
	前 7:05 アニメ おしりかじり虫 3	3.7	〈5.2〉*1	3	4	3	5	4	3
	前 7:10 アニメ わしも	4.5	〈5.6〉*1	3	6	4	6	5	4
	前 7:20 どちゃもん あさめしまえ	5.3	〈6.0〉*2	4	7	6	6	5	4
	前 7:30 みいつけた!さん	5.4	5.4	4	7	8	8	3	3

*1 前年は「きかんしゃトーマス」(5.4%) 前 7:00 ~ 7:20

*2 前年は「アニメ おしりかじり虫」(6.0%) 前 7:20 ~ 7:25, 「みいつけた!さん」(5.5%) 前 7:25 ~ 7:55

いる幼児の多くは家を出る⁶⁾ため、未就園児の多い2歳の視聴が3歳以上と比べて多くなることによる。

土曜・日曜の朝の番組視聴率をみると(表

12), 土曜は「おかあさんといっしょ土曜日」(前 8:00), 「ムジカ・ピッコリーノ」(前 8:25), 「アニメ おさるのジョージ」(前 8:35) と、午前 8 時台の番組がいずれも 20% 以上とよ

く見られている。今回はそれらに続く「アニメ ひつじのショーン」(前9:00)が14.4%、「アニメ はなかっぱ」(前9:20)が12.5%で、いずれも前年より減少した。日曜の午前7時台の幼児・子ども向け番組の視聴率は5%前後で、いずれも前年と同程度であった。

Eテレの平日夕方の主な番組視聴率をみると(表13)、午後4時から徐々に視聴率が増加し、午後5時台後半の番組が15%前後とよく見られている。全体の視聴率では、いずれの番組も前年と変化はない。

土曜・日曜の夕方の番組視聴率は表14の

表13 平日 夕方の主なEテレの番組 男女年齢別視聴率

		(%)							
番組名	全体	前年	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳	
後4:00 みんなのうた	5.0	6.1	4	6	9	4	5	3	
後4:05 えいごであそぼ	5.0	6.1	4	6	9	4	5	3	
後4:15 いないいないばあっ!	6.6	7.6	6	7	13	6	6	3	
後4:30 おかあさんといっしょ	9.1	10.3	8	10	17	9	8	5	
後4:55 みいつけた!	11.4	13.0	10	13	17	11	10	9	
後5:10 にほんごであそぼ	12.7	14.5	11	15	18	11	11	11	
後5:20 ミニアニメ・うさぎのモフィ ほか	12.9	15.0	11	15	17	11	12	12	
後5:25 アニメ はなかっぱ	14.0	16.0	12	16	17	12	14	14	
月 ミミクリーズ	16.5	21.0	13	20	17	16	20	14	
後5:35 火 コレナンデ商会	15.2	<17.7>*1	12	18	18	15	12	16	
金 ムジカ・ピッコリーノ	13.9	14.3	13	15	15	12	13	15	
後5:35 (水木) マリー&ガリー ほか	14.8	16.1	14	16	16	12	15	17	
後5:40 (水木) ビタゴラスイッチ ミニ ほか	14.8	16.1	14	16	16	12	15	17	
後5:45 ゴー!ゴー!キッチン戦隊クックルン	15.8	18.5	14	17	16	14	17	16	
後5:55 ニャンちゅうワールドミニ	15.8	18.5	14	17	16	14	17	16	
後6:00 (月火) アニメ わしも	15.6	20.1	13	19	12	16	18	17	
後6:00 (水~金) アニメ おじゃる丸	13.4	15.4	13	14	12	13	11	17	
後6:10 アニメ 忍たま乱太郎	13.9	16.7	12	16	11	14	13	16	
後6:20 (月~木) Let's 天才てれびくん *2	13.0	14.6	13	13	10	12	13	17	
月 ドラマ・念力家族	10.6	9.5	11	10	8	11	12	11	
後6:45 火 アニメ・少年アシベ	10.6	<10.6>*3	12	10	10	9	10	13	
水 アニメ・ねこねこ日本史	9.2	<11.5>*4	9	9	5	10	9	11	
後6:20 (金) ビットワールド	7.7	7.5	6	10	6	9	6	9	
後6:55 (月~木) Rの法則	2.7	3.2	3	3	2	2	3	4	
後6:55 (金) Eダンスアカデミー	2.7	1.7	2	4	3	4	2	3	

*1 前年は「ゆうやけシャキーン!」後5:35~5:45 *2 月~水後6:20~6:45, 木後6:20~6:55 平均

*3 前年は「アニメ・キャット団」 *4 前年は「アニメ・くつだる。」

表14 土曜・日曜 夕方の主なEテレの番組 男女年齢別視聴率

		(%)							
曜日	番組名	全体	前年	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
土	後5:00 おかあさんといっしょ土曜日	6.0	4.8	6	6	9	5	5	6
	後5:25 おとうさんといっしょミニ	6.2	5.6	7	6	9	5	4	7
	後5:30 アニメ 境界のRINNE 2	6.3	<4.9>*1	6	7	7	6	7	6
	後5:55 みんなのうたリクエスト	6.4	4.5	5	8	6	6	8	6
	後6:00 アニメ スポンジ・ボブ	6.6	3.9	7	7	2	5	11	9
	後6:25 海外ドラマ サム&キャット	4.3	<3.5>*2	5	4	1	3	5	7
後6:50 プレキソ英語	3.1	2.8	4	3	1	3	2	6	
日	後5:00 ニャンちゅうワールド放送局	4.8	4.8	5	4	6	2	6	6
	後5:25 ミニアニメ ミッフィーのぼうけん	5.3	<4.7>*3	6	5	7	3	7	6
	後5:30 きかんしゃトーマス	6.1	<3.0>*4	7	5	6	4	7	7

*1 前年は「アニメ 境界のRINNE」 *2 前年は「海外ドラマ アイ・カーラー」

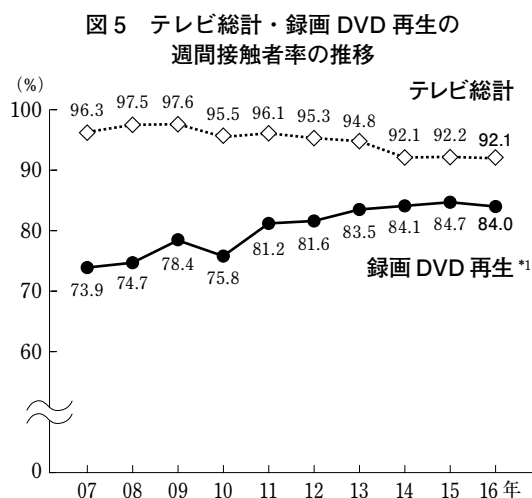
*3 前年は「ブルーナの絵本」 *4 前年は「アニメ バイビーステップ2」

とおりで、午後5時台の番組が6%前後の視聴率である。土曜日は、前年に放送が始まった「アニメ スポンジ・ボブ」(後6:00)の視聴率が6.6%と、前年から増加した。日曜日は「きかんしゃトーマス」(後5:30)が6.1%で、前年同時間帯より増加した。

3. 録画番組とDVDの利用状況

(1) 録画番組・DVDの再生時間、週間接触者率は横ばい

本調査では、テレビ視聴状況とともに、録画番組と市販のDVDやビデオの再生状況も同様に記入してもらっている。ここからは録画番組やDVDの利用状況を紹介します。



*1 調査票での選択肢は「ビデオの再生」(~2008)、「ビデオ・DVDの再生」(2009・2010)、「ビデオ・HDD・DVDの再生」(2011・2012)、「録画番組やDVDの再生」(2013~)と変遷している。報告上は2012年まで「ビデオ再生」、2013年から「録画DVD再生」としている

1週間に少しでも録画番組やDVDを見た幼児(週間接触者率)は84.0%で、前年(84.7%)と同程度である。長期的にみると、2000年代後半は70%台であったのが、2011年以降は80%を超え、漸増していたが、2014年以降は横ばいである(図5)。

次に再生時間を見ると、利用していない幼児も含む1日あたりの録画DVD再生時間は54分であった(表15)。今回は年齢別に大きな差はみられない。

曜日別に録画DVD再生時間を見ると(図6)、土曜・日曜はともに1時間を超え、平日と比べて長めである。テレビ視聴時間と録画DVD再生時間をあわせた1日のトータルの視聴時間に占める割合をみると、土曜は4割を超え、平日・日曜と比べて高めである。

録画DVD再生の30分ごとの平均利用率をみると(図7)、平日よく利用されているのは午後4時30分~9時で、特に午後6時~8時

図6 曜日別録画DVD再生時間とテレビ視聴時間

	録画DVD再生 (時間:分)	テレビ視聴 (時間:分)	トータル (時間:分)
平日	0:48	1:40	2:28
土曜	1:13	1:35	2:48
日曜	1:07	1:48	2:55

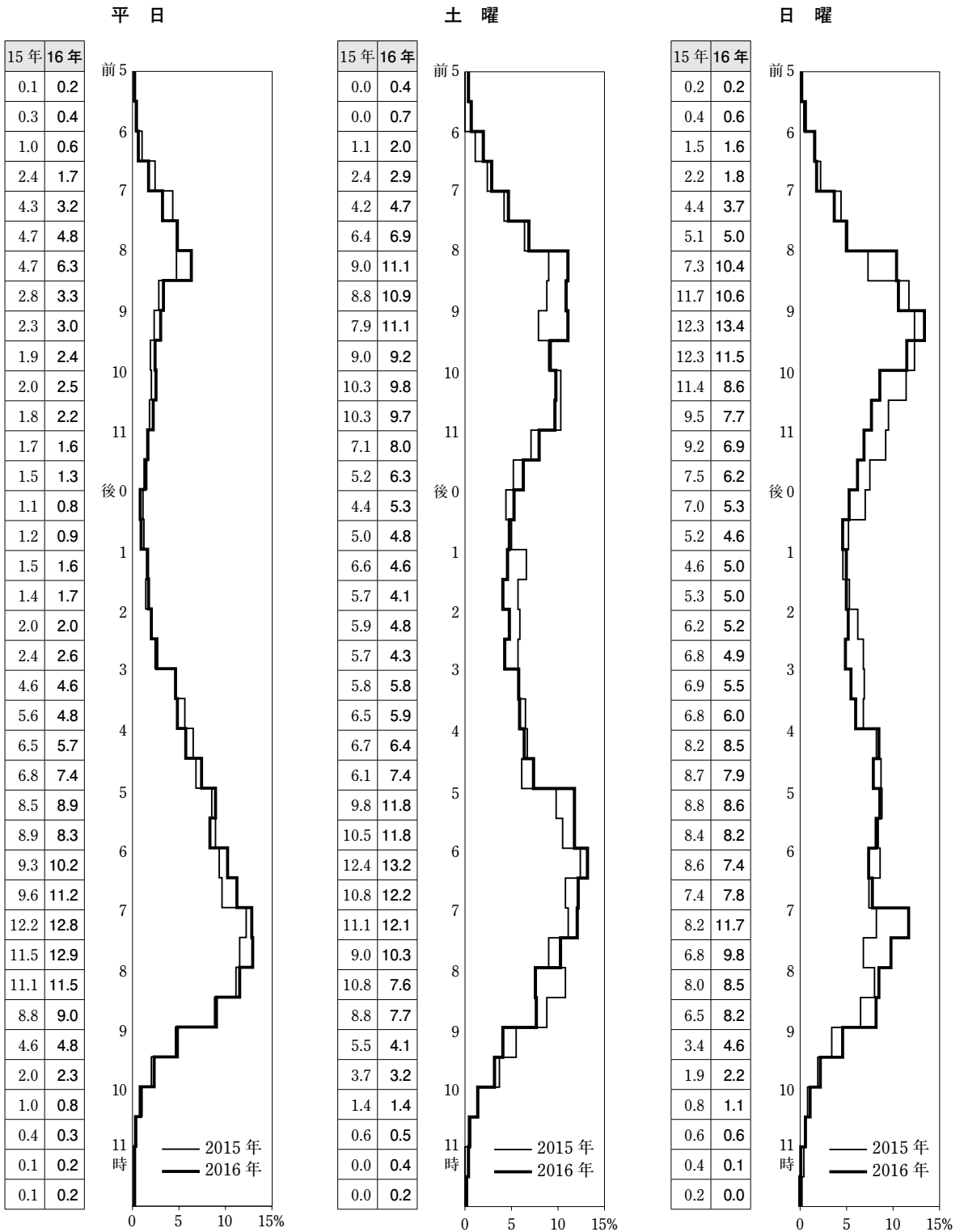
表15 録画DVD再生時間*(1日、週平均)

(時間:分)

	全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳	保育園児	幼稚園児	未就園児
14年	0:54	1:02	0:46	1:20	0:51	0:49	0:47	0:49	0:50	1:21
15年	0:52	0:56	0:49	0:58	0:50	0:49	0:55	0:44	0:57	0:54
16年	0:54	0:55	0:54	0:58	0:54	0:51	0:54	0:52	0:54	0:58

* 録画DVD再生を利用していない幼児も含む

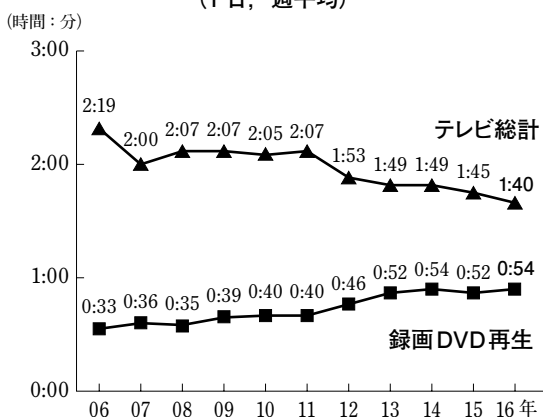
図7 録画DVD再生の30分ごとの平均利用率（平日・土曜・日曜）



30分で10%以上と高い。土曜・日曜は夜間に加えて午前にも利用の山があり、午後の時間帯も5%前後と、平日より利用されている。前年と比べて大きな変化はない。

2006年以降の録画DVD再生時間とテレビ視聴時間の長期推移を図8に示した。録画DVD再生は、2011年までほぼ横ばいだった

図8 テレビ視聴時間と録画DVD再生時間の推移
(1日、週平均)

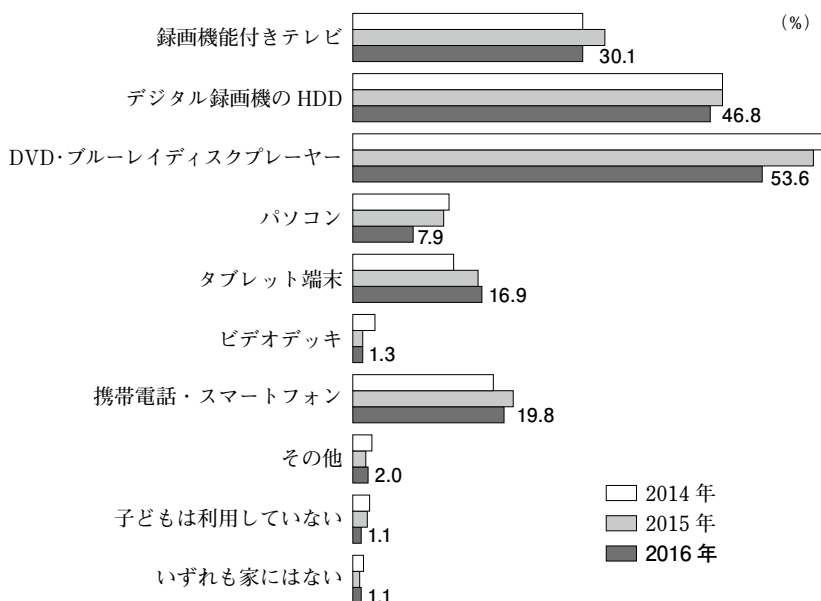


が、2011年から2013年にかけて増加し、それ以降は同程度で推移している。一方のテレビ視聴時間は、前述のとおり2012年に2時間を切って減少し、緩やかに減少傾向にある。2012年以降、テレビ視聴と録画DVD再生との時間量の差は縮まっている状況が続いている。

(2) 「タブレット端末」利用の増加が止まる

付帯質問で、幼児が録画番組や市販・レンタルDVD、インターネット動画などを見るときに多く利用する機器を複数回答で尋ねた(図9)。最も多いのは「DVD・ブルーレイディスクプレーヤー」(53.6%)で、続いて「デジタル録画機のハードディスク(HDD)」(46.8%)、「録画機能付きテレビ」(30.1%)が多く利用されている。前年と比べると、「DVD・ブルーレイディスクプレーヤー」(60.3%→53.6%)、「パソコン」(11.9%→7.9%)

図9 録画番組、市販・レンタルDVD、インターネット動画を見るとき多く利用する機器(複数回答)



が減少している。前年まで増加が続いていた「タブレット端末」(16.9%)は、前年と同程度であった。

(3) インターネット動画を見る幼児が 前年より増加

同様に付帯質問で、休日をのぞくふだんの日1日に「録画した番組」、「市販・レンタルDVD」、「インターネット動画」をそれぞれのくらい再生して見ているかを尋ねた。

その中で「15分未満」から「2時間以上」まで「見る」と答えた人すべてを足しあげると(視聴計)、録画した番組を見る幼児は72.8%、市販・レンタルのDVDなどを見る幼児は35.2%、インターネット動画を見る幼児は37.8%で、録画番組を見る幼児が最も多

い(表16)。前年と比較すると、インターネット動画を見る幼児が増加している。

それぞれの再生時間を見ると、録画した番組は「30分以上1時間未満」が最も多く、インターネット動画の利用は「30分未満」が多い(図10)。前年と比べると、インターネット動画の利用は「ほとんど、まったく見ない」が減少し、「30分以上1時間未満」が増加した。

まとめ

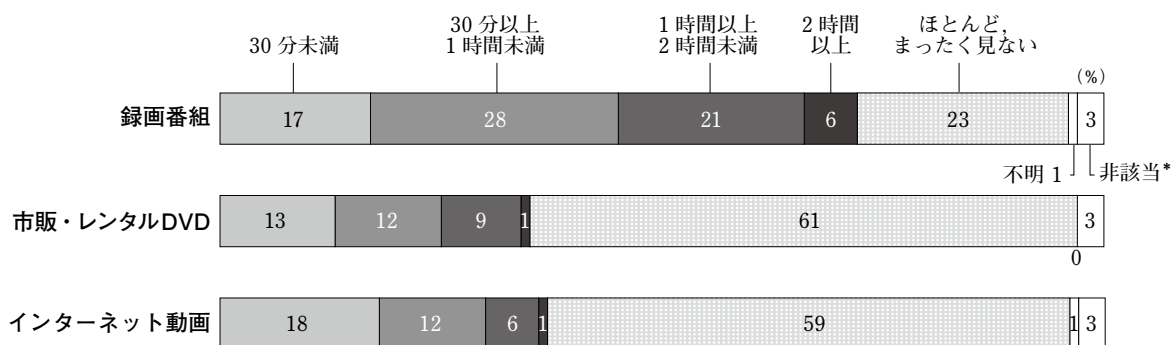
今回、幼児の録画番組・DVDの再生時間は変化がなかったが、テレビ視聴時間が減少傾向であるため、テレビ視聴時間と録画DVDの再生時間の差がさらに縮まる結果となった。

表 16 録画番組、市販・レンタルDVD、インターネット動画の視聴計

	全体			男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
	14年	15年	16年						
録画番組	72.0	71.3	72.8	73	73	71	76	70	73
市販・レンタルDVD	37.5	39.3	35.2	37	33	43	33	34	33
インターネット動画	32.9	31.3	37.8	39	36	42	35	34	41

(%)

図 10 録画番組、市販・レンタルDVD、インターネット動画の1日の再生時間の分布



* 非該当は録画再生機器などが「家にあるが子どもは利用していない」と「いずれも家にはない」の回答者

接触者率からみると、Eテレの接触者率が72.8%と前年、前々年と変わらず堅調なものの、民放各局の接触者率は低めであり、幼児のテレビ総計の週間接触者率は2012年(95.3%)から漸減している。漸増傾向にあった録画DVD再生の週間接触者率も、2014年以降は横ばいに推移する中で、インターネット動画を見る幼児は増加した。

前年の報告⁷⁾では、付帯質問の結果から、モバイル端末の利用の増加と連動してインターネット動画を見る幼児が増加しており、幼児の映像視聴媒体がモバイル端末へとシフトする動きがあると述べた。今回は、インターネット動画を見る幼児が増加している状況には変わりがないが、これまで着実な伸びがみられていた「携帯電話・スマートフォン」や「タブレット端末」といったモバイル端末の利用は、その伸びが止まっている。モバイル端末へのシフトの動きが一段落したものの、動画配信サービスの普及などによるメディア環境の変化で、インターネット動画を見る幼児が増えているのかもしれない。

録画機器の進化、モバイル端末の普及、定額動画配信サービスの開始などにより、さまざまな映像視聴媒体やサービスの選択が容易にできるようになる中で、幼児の映像視聴行動がどう変化していくのか、引き続き注視していきたい。また、現行の調査では、録画番組やDVDの再生で見られている具体的な番組名が把握できないこと、インターネット動画を利用している時間帯や、見られている具体的なコンテンツ名がわからないこと、などさまざまな課題がある。幼児の多様化する映像視聴行動の測定方法についても研究を進めていきたい。(ほしあきこ)

注：

- 1) 木村義子 / 山本佳代 / 吉藤昌代 / 林田将来「テレビ・ラジオ視聴の現況～2016年6月全国個人視聴率調査から～」『放送研究と調査』2016年9月号
- 2) テレビ視聴、および録画番組や市販のDVDなどの再生について、調査を開始した1990年から2012年まで「家庭内での視聴のみ」としていたが、デジタル録画再生機器の普及を背景に、2013年から「家族で移動中(車中など)の視聴も含む」こととした。幼稚園や保育園での視聴は、これまでどおり含めていない。
- 3) 白石信子「幼児で高い夕方のテレビ視聴～2000年7月『幼児視聴率調査』から～」『放送研究と調査』2000年11月号のほか、「2013年幼児生活時間調査」の報告書(<http://www.nhk.or.jp/bunken/yoron/lifetime/index.html>)でも、幼児と母親の視聴時間の関連性を報告している。
- 4) 高位番組には、1990年代前半は視聴率60%以上、1990年代後半は50%以上、2000年代は2007年を除き、40%以上の番組があった。2010年以降は30%以上の番組があったが、2015年に初めて30%を超える番組が1本もなくなった。
- 5) 「ちびまる子ちゃん」は、2002年以降、よく見られた上位10番組に入っていた。
- 6) 「幼児生活時間調査」(2013年3月、東京50キロ圏に住む0歳(4か月)～就学前の幼児1,500人を調査相手とし、NHK放送文化研究所が実施)によると、午前8時30分には、幼稚園児の45%、保育園児の73%が在園している。
- 7) 吉藤昌代「幼児のテレビ視聴と録画番組・DVDの利用状況～2015年6月『幼児視聴率調査』から～」『放送研究と調査』2015年10月号